



# Weekly Report

## 小諸浅間ロータリークラブ



- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
- ◆会 長 / 掛川 興太郎 ◆副 会 長 / 小池 平一郎
- ◆幹 事 / 矢島 栄一 ◆ガバ広報・情報委員長 / 中河 邦忠

2016~2017 年度

国際ロータリーのテーマ

NO. 1334 平成28年9月13日

◆点鐘	掛川興太郎 会長
◆SAA	橋詰 希望 委員長
◆ソング	奉仕の理想
◆ゲスト	原 拓男様 (RI第 2600 地区 ガバナー) 高見澤敏光様 (東信第一グループガバナー補佐)
◆ビジター	村田 博志君(佐久RC)

### 【会長挨拶】 掛川興太郎 会長

皆さん、こんにちは。

本日は、2600地区ガバナーをお迎えしています。原ガバナー、今日は私達の為に、小諸浅間ロータリークラブに訪問頂きまして、誠にありがとうございます。しっかりと勉強させて頂きます。ガバナーと同行されました村田 博志(ヒロシ)会員、宜しくお願い致します。そして、ガバナー補佐の高見沢さんには先々週に引き続き、有難うございます。原拓男ガバナーは皆さまも御存じのように、アテネオリンピック バasketボール日本女子代表チームの監督をされました。地区標語 Basic & New! (原点に返り新たな改革を)を掲げられています。今、ロータリークラブ活動も大きな壁にぶつかっているように感じます。根源的には、我々が暮らす身近な地域振興、活性化の問題であり課題でもあるように思います。私達が生活をし、暮らしている地域が豊かになり、暮らしている住民が幸せになることが目的だろろうと思います。地域の(稼ぐ力)を引き出す、生産性の高い活力にあふれた地域経済の構築こそが地域の総合力と民の知恵を引き出し実行し結果を出すことが大切だと思います。高齢化と人口減少社会に対応する地域に必要な産業、事業とは？ 農林産業？、商工業？ サービス業？等々多様なビジネスが必要だと思います。その為には、地域連携、産業連携(観光、宿泊、食、農、加工業)、等々。ロータリアンの業種の縛りは時代に合わないのではと感じます。会員増強の戦略

的活動はこの地域と、連携する産業、事業者共通したテーマ・コンセプトと目的で決まるように思います。地域が稼ぐ、地域を磨く、自立出来る、その為の会員増強が必要の様に思います。原ガバナーはオリンピック女子バスケットチームの構築に知恵と努力を傾けられたと思います。会員増強の戦略的増強の方向性の御指導をお願いしたいと思います。宜しく御指導お願いします。

### 【幹事報告】 矢島 栄一 幹事

1. 東信第一グループ高見澤ガバナー補佐、東信第二グループ関ガバナー補佐より

東信第一グループ・東信第二グループ会員増強合同委員会開催について

日時 10月8日(土)17時より(会議終了後懇親会)

場所 小諸グランドキャッスルホテル

2. 八幡宮総代 高橋正昭様より八朔相撲寄付礼状
3. 例会変更

上田東RC	9月21日(水)	定刻受付あり
	10月12日(水)	定刻受付なし
	10月26日(水)	定刻受付なし
	11月2日(水)	定刻受付あり

4. 週報

南佐久、佐久、佐久コスモス、上田、東御RC

・例会終了後理事会

【本日の配布物】

週報 1333号、卓話資料

### ◆出席報告 湯本 敏晴 委員

会員数22名 出席義務者21名 免除者1名

本日	出席	14名	
	事前MU	0名	80.00%
前々回(8/9)	MU	3名	78.95%

### ◆ラッキー賞

NO 9 村田 博志君

橋詰 希望君	原ガバナー、高見澤ガバナー補佐様、宜しくお願ひ申し上げます。	掛川興太郎君	原ガバナー、高見澤ガバナー補佐、村田様ようこそ。
小池平一郎君	原ガバナー、高見澤ガバナー補佐、有難うございます。	矢島 栄一君	原ガバナー、本日はよろしくお願ひ致します。
		村田 博志君	本日は宜しくお願ひ致します。

【本日のプログラム】 「ガバナー公式訪問」

国際ロータリー第 2600 地区 ガバナー 原 拓男様



1. RI テーマ「人類に奉仕するロータリー」  
(Rotary Serving Humanity)
2. 2600地区方針及び行動指針  
地区標語「Basic & New! (原点に戻り新たな改革を)」  
行動指針「長所を認め合い絆を深めよう」

3. 重点事業(地区プログラム P9)

I. 会員増強(目標)各グループ純増10名、合計90名

この数年2000名の会員確保に苦慮している状況は2600地区の最大の問題点  
会員増強をする為には例えば

- ①ロータリーが果たした役割を多くの人に知って貰うこと。
- ②ロータリーとは何か、何に取り組んでいるかをクラブを通じて地域社会に情報を広げる。
- ③クラブの全会員がロータリーへの入会がロータリーの奉仕を通じて地域の為、人類の為により良い世界を築く機会である事を認識し増強を計る。

II. GLP の運用によるクラブの強化

III. 職業奉仕の見える化

会員が小、中、高の学校で自分の職業に関する話をする (ロータリーを知って貰う⇒将来の会員増強)

4. 継続事業

I. ロータリー財団への寄付(ポリオの撲滅を含む)

今年度はロータリー財団設立100周年の記念すべき年です。財団100年の歴史は、1917年6月18日アメリカジョージア州アトランタで開催された第8回年次大会での RI 会長アーチ・クランプの「世界で良い事をする為に基金を作るのが適切だと思われる」という言葉から始まりました。

その後基金に初の寄付26ドル50セントが寄せられ財団がスタートし、100年間に世界中の何千という地域社会に30億ドルを提供してきました。100周年はロータリアンや世界中の人々にとって R 財団の人的活動の大きな歴史を振り返る絶好の機会です。

その歴史の重要な事の一つが2人の日本人ロータリアン山田ツネさんと峰英二さんが提唱したポリオの撲滅です。ポリオは現在アフガニスタンとパキスタンで16例が報告されただけで、本当にあと少しで撲滅できます。

因みに、来年6月10日～14日財団発祥の地アトランタで国際大会が行われますので、当地区からも多く皆様に出席をお願いしたいと思います。ロータリーの友7月号の横読み P44～45に「R 財団100周年を祝う」という記事が掲載されていますので一読下さい。

さて、昨年度は財団への寄付は一人150ドル、ポリオ撲滅に500円、平和センターに500円という金額をお願いしていましたが、100年に一度というこの周年を記念して一人150ドルの他ポリオに40ドル、平和センターに10ドル

合計200ドルの寄付をお願いします。(実質は4千円ほどの上乘せ)

2016-2017年度ロータリーの目標(地区プログラム P9参照)

お願いばかりで大変申し上げにくく、又心苦しいのですが、申し上げない訳には行きませんので申し上げます。

1920年10月20日東京 RC が設立総会を行い米山梅吉氏が初代会長に就任し、ここから日本の RC の歴史が始まり2020年、東京オリンピックの年に100周年となります。そのため昨年「日本のロータリー100周年委員会」が立ち上げられました。そして今年度が始まる7月1日に東京で第1回ガバナー会議が開催され、議題の一つにこの100周年委員会の予算が上程されました。予算総額は1760万円で内訳は人件費650万円、事務所経費240万円、備品費100万円、三つの委員会費550万円、予備費220万円です。寝耳に水の様なこの件に対し各クラブで既に予算も立てられている事もあり我々ガバナーから多くの反対意見が出されましたが最終的には100周年という周年事業をやらない訳にはいかないだろうという結論に至りました。

その結果、今年度は約88000人の会員に一人200円の拠出をお願いするという事になりました。予算書では納入期限は10月末日となっていました、降って湧いた様なこの件を各クラブにお願いし理解を戴くにはガバナーが公式訪問で直接お願いするしかないという事で納期は来年4月か5月に延期して貰いました。

今更大変心苦しいお願いで恐縮ですが、考えてみれば日本のロータリー100周年を祝う事は我々ロータリアンにとって大きな節目のお祭りのような事であり、公共イメージの向上には絶好の機会ととらえるべきだと思います。会員の皆様には異論もありませんかと思いますがご協力を是非宜しくお願い致します。

次に、3年に1度開催される規定審議会がシカゴで開催され当地区からは堀川浩 PG が代議員として出席されましたがご承知の通り今回は大きな変革がありました。一部の会員の皆様はロータリーに失望したやの発言もあるとお伺いしましたがこの変革を否定的に捉えるのではなくむしろ自分たちのクラブをより良くする為の自主権が多くなったと肯定的に捉えて欲しいと思っています。

例えば例会に柔軟性を持たせる件についてはクラブフォーラム等で全員で議論し、その決定が自分たちのクラブにとってより良いと思われるならばその方向性を決めるのは各クラブ自身です。

但し今期は既に始まっておりますので、この一年しっかり議論して欲しいと思います。地区研修・協議会でも申し上げた個人的な意見ですが、私は「四つのテスト」の内三番目の「好意と友情を深めるか」を一番大事にしています。毎週例会で友と逢い語り知らない知識を得るのはとても楽しみです。

最後に東京 RC の今年度のテーマは「Enjoy Rotary」です。

楽しくなければロータリーではありません。皆さんロータリーを楽しみましょう。ご清聴ありがとうございました。



次週のプログラム： 9月20日 「相続模様(税・法律の視点から)」前田 博志会員

次々週のプログラム： 9月27日 「信州小諸のそごちから」 牧野 和人氏